

「コミわか」この一年を振り返って

環境部

自然豊かで、安心して住むことのできる町づくり

環境部長 中島 一男

皆さんは、環境部がどんな事をやっているか知っていますか。

基本的には、若槻まちづくり計画の中に自然環境分野があり、そこに記載された8事業を行って参りました。簡単に事業の内容を説明しながらこの一年を振り返ってみたいと思います。

- ① 三登山産廃対策事業：この事業は現地視察・業者との懇談実施を目標にして進めております。これについては実現できませんでしたが、市で実施している立ち入り検査と水質検査結果の報告と、地元住民との意見交換会を行っております。
- ② 環境問題啓発事業：出前講座を行い生ごみのリサイクル化に取り組みました。次年度は各地区住民への啓発とリサイクル化を考えております。
- ③ ホタルウィーク事業：9日間のホタルウィークを設け実行委員会形式で、期間中の来場者の安全とホタル保護活動への理解を得る活動を行いました。若槻地区内の住民が対象ですが、現在地区外の来場者が7割強を占めており、幼児からお年寄りまで多くの見学者が訪れております。
- ④ 自然観察学習事業：この事業は5月～翌2月まで通年実施しており、本年度は昭和の森公園を中心に植物観察・昆虫観察・星空観察（2回）・川の生き物観察・バードウォッチングと6回実施しました。5月の1回目の観察会ではキノコのコマ打ち体験も行ったためか、一般参加者が50名以上集まりましたが、それ以降の観察会は参加者が少なくちょっと寂しい状況でした。広報等で毎回お知らせしていますので、積極的な参加をお願いします。

その他溜池・河川水質調査事業、外来動植物駆除対策事業については事前に研修講習等を行い、その後、各地区で調査及び駆除を行っております。ホタル保護保全事業と若槻自然遺産活用事業は、自然保護保全と啓発を図る事業です。

皆さんも、私達を取り巻く若槻の自然環境に目を向け、自然の大切さを知り、守っていきましょう。

次年度もいろいろな内容を工夫しながら事業を進めてまいります。多くの皆様の参加と協力をよろしくお願ひいたします。



ホタルウィーク開幕セレモニー



森の昆虫観察会

福祉健康部

新たな福祉コミュニティの形成を目指して 人と人とのつながりを福祉活動に生かします

福祉健康部長 北村 勝

福祉健康部は、地域の交流を深める「お茶のみサロン」、子育て中の保護者対象に「お母さんの何でもトーク」「おはなし会」、地域住民の皆さんによる身の回りの家事援助や外出のお手伝いを中心に行う「地域たすけあい事業（家事援助・福祉移送）」、健康や介護を身近に感じていただきたいと「料理教室」「ぴっかり教室」など、幅広い年代層を対象とした事業を実施してきました。

また、今年度は「はつらつ応援隊養成講座」を開催し、住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らせるよう、身近な地域での介護予防活動に取り組み始めました。これからより一層地域の中に広げていきたいと考えています。

次年度も多くの方に関心を持っていただけるよう、創意工夫して進めて参りますのでよろしくお願ひいたします。



お母さんの何でもトーク



花の種・苗交換会(春)



ぴっかり教室